

委員	意見の有無	意見番号	資料名等	質問・意見内容	回答
金子 勝雄	なし				
林 和明	なし				
西岡 茂	なし				
有村 知里	あり	①	プレゼンテーション資料 p.14~20 地域活動交流事業	多彩な活動を実施しているが、同時にニーズに応じた修正、あるいは改廃など必要なのではないか。直近で新しく始めたこと、事業があれば教えてほしい。	現在プラザ主催の定期事業は14事業（子育て支援2事業含）、単発事業は5事業で、いずれも自主化（プラザ主催から参加者主体）を目標に始めた事業です。しかし、参加者の高齢化により自主化（プラザ主催から参加者主体）を目指さず、地域の居場所として自主事業（プラザ主催）を継続しています。年に1回アンケート実施、結果を自主事業に反映しています。また、直近で新しく始めた自主事業としては、初心者のための脳トレ健康マーじゃんと椅子に座って行う高齢者のリズム体操「ズンバゴールド」です。
石井 忍	あり	①	応募関係書類 p.28 インデックスナンバー6-1 p.29 インデックスナンバー6-2	法人役員名簿の一部に誤りがあるので、表記を訂正する必要がある。	ご指摘をありがとうございます。訂正後、再度提出します。
石井 忍	あり	②	応募関係書類 p.73 インデックスナンバー11	マーじゃん、脳トレマーじゃんと表記があるが、他に具体的な例はないか。	表記していないその他事業は、①合唱サロン：発声練習で体と心の健康作りを支援 ②学習サロン：学習療法を用いた、認知症・介護予防の改善 ③食事会：閉じこもりがちな高齢者の外出や仲間同志の交流を図る ④男性料理教室：基本的な家庭料理を通じて、男性の居場所確保や地域の仲間づくりなどに取り組んでいます。
石井 忍	あり	③	応募関係書類 p.80 インデックスナンバー11	虐待によるものと思われるアザについて、「通所介護事業所からの報告が迅速でないことがある」という問題に対し、取り組み内容が、講座を継続して行うだけで良いのか。	虐待によるものと思われるアザが発見された場合、速やかに通所相談員、区役所、地域包括支援センター、ケアマネジャー等の関係機関によるカンファレンスを開催します。その上で今後の防止策として、通所介護事業所からの伝達方法の演習を含めた講座を継続実施しています。
石井 忍	あり	④	プレゼンテーション資料 p.31	食事については利用者の方々と意見交換をする機会を設けているか。その頻度もコンスタントに行われているか。	食事を議題とした意見交換の場は特別に設けていませんが、毎日の食事やおやつの日または食事介助時などで日常的に随時ご意見を伺っています。年に2回アンケートを実施、検食簿は毎日記録して、毎月1回開催の給食委員会に反映しています。
石井 忍	あり	⑤	プレゼンテーション資料 p.30	デイサービスにおいて利用者の急変時の対応はマニュアル等で周知できているのか。どのくらいの頻度で救急対応があるのか。	急変時の対応マニュアルは職員に周知しています。マニュアルは必要時は随時、少なくとも年に1回は見直しています。急変時に直ぐに確認できるようにデイルームに常設し、年間計画で施設職員対象に研修を実施しています。直近一年間では、2回の救急対応がありました。
武田 容子	なし				
竹下 淳子	なし				